

2014 Sochi Olympic

真央 腰痛解消へ「秘密兵器」



「マルチサポートハウス」公開



ソチのマルチサポートハウスで高周波治療器での施術方法をみせるスタッフ（撮影・西海 健太郎）

真央に「金兵器」だ。ソチ五輪の日本代表選手を支援する目的で、冬季五輪で初めて設置される「マルチサポートハウス」が1日、報道陣に公開された。今大会はスケート、ス

高周波治療器

ソチ（ロシア）
ペン 杉本 亮輔
カメラ 西海健太郎
大森 寛明

キート選手村が離れているため、黒海沿岸部と山間部の2カ所に設置。フィギュアスケート女子の浅田真央（23＝中京大）は腰痛の不安を抱えているが、ハウスには高周波治療器も導入。最高のサポートを受けて、悲願の金メダルへ突き進む。

集大成の夢舞台を前に、最高のサポート態勢が整った。黒海沿岸部の選手村から、バスで約10分という好立地にあるマルチサポートハウスが公開された。山間部と合わせて事業費は約4億8000万円。黒海沿岸部のハウスはホテルの2、5階まで、それぞれのフロアの半分を借り切りにしたが、4階のメディカル

ルームに金メダル兵器は存在していた。定価約200万円、国内メーカーの高周波治療器。ハウス関係者は「深部まで加温ができる。腰痛にもいい」と話す。腰痛と闘う金メダル候補と言えは、フィギュアスケートの浅田だ。同じソチで行われた、12年12月のGPファイナル前に腰痛を発症。同大会は優勝したものの、棄権を考慮するほどの状態に追い込まれた。今季も昨年12月のGPファイナル前に腰に痛みを訴え、年末の全日本選

日本食も入浴剤も!! 前線基地で支え万全



（上から）食事会場には別の献立が用意されている。お風呂には入浴剤

手権は3位。年明けからは順調にトレーニングを積んでいるが、5日の現地入り後に練習に臨んで負荷がかかり、痛みが再発する恐れもある。過去に使用したことがある高周波治療器が、浅田を支えるのは間違いない。

常時、30人ほどのスタッフが常駐するハウスでは治療のほかエアロバイクやバランスボールを使ったトレーニングや日本の食の提供、広いジャグジーバスでの入浴などさまざまなサポートが受けられる。屈強な警備員も雇

い、セキュリティも万全。「一番、いい色のメダルを持って帰ってこれれば」と気合を入れている浅田は、全てを力に変えて最高の輝きを目指す。（杉本 亮輔）

「白玉」づくし

○：白玉で白星ゲットだ。マルチサポートハウスで提供されるデザートは「みらたし白玉」など、全て白玉が入り。関係者は「白玉は炭水化物ですから。白玉と言われれば、そうですね」と笑顔。日本食の提供には、10人の調理スタッフで対応。運営する日本スポーツ振興センターの河合季信ディ

に会場が例が、お風呂には入浴剤

用具整備もOK

○：冬季五輪は用具の整備などが夏季五輪よりも必要な競技が多いため、マルチサポートハウスに器具を持ち込んだ。

ら徒劇場た。選手個のにしたに設ツジ黒海スピードる。フショ部屋部の靴の山間スに調整があ